

# 御部ダムだより

第1号(平成22年度)  
平成22年4月  
浜田県土整備事務所

## 御部ダムの警報について

御部ダムの放流警報の看板を  
20年ぶりに更新しました!

また、更新にあわせて看板の内容も一新しましたので、今回は洪水時の御部ダムの警報(放送とサイレン)について解説します。

## 洪水時のダムの役割

ダムの警報の解説の前に、洪水時のダムの役割について説明します。

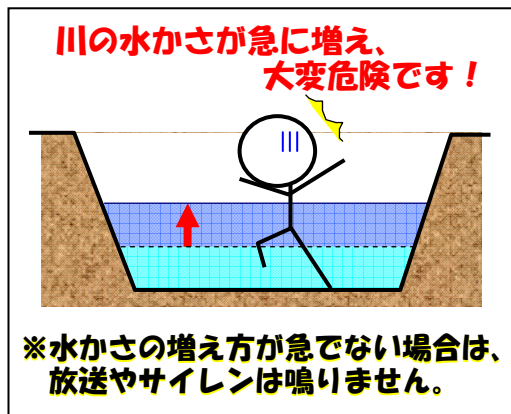
大雨が降ると、たくさんの水がダムに流れ込んで来ます。その水がそのまま下流に流れてしまうと川が氾濫(はんらん)しますので、**流れてくる水の一部をダムに貯めながら、下流へ流します。**(これをダムの洪水調節と言います。)

また、雨がたくさん降るほど、ダムから流れ出る水の量が増え、川の水かさも増えて川の中が危険な状態になります。**川の水かさが増え始めたら、川から上がって川に近づかないようにしてください。**



## ダムの放流警報

雨が急に強くなるなど、ダムから流れ出る水が急に増えると、川の水かさも急に増えることがあります。川の水が急に増えると大変危険ですので、そのおそれがある場合は、ダムの放送やサイレンでお知らせします。**ダムの放送やサイレンが聞こえたら、すぐに川から上がって、川に近づかないようにお願いします。**



## 警報の放送とサイレン

御部ダム～出合橋の間にある5つの警報局で、放送やサイレンが鳴ります。

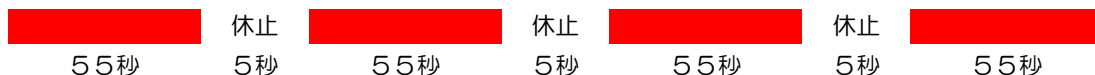
### 放送文

こちらは島根県御部ダムです。  
大雨のため今後、河川の水位が急激に上昇する恐れがありますので、川に近づいたり、川の中に入らないようにお願いします。  
なお、この放送が終わりますと、サイレンを鳴らしますので、ご注意ください。



警報局

サイレン 合計3分55秒鳴ります。



## ダムの警報区間

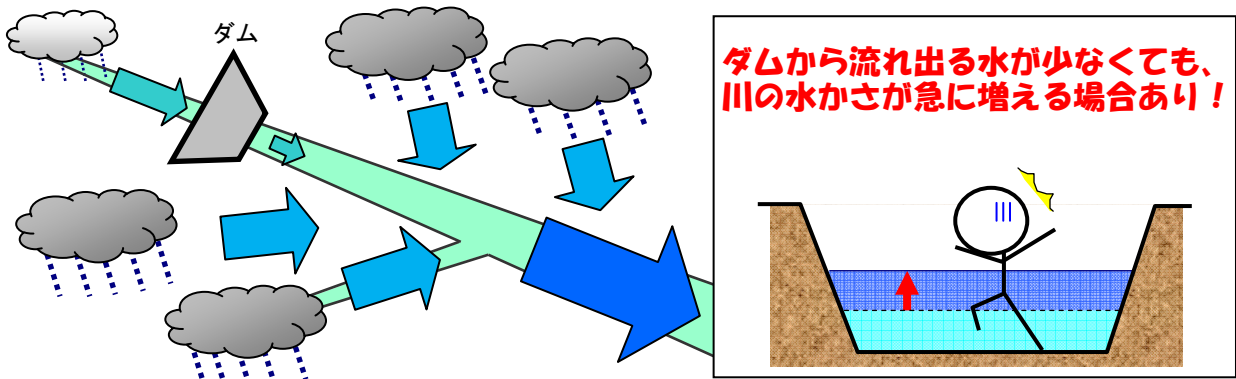
御部ダムの警報区間は、御部ダム～出合橋（矢原川との合流点）の間です。

これは、御部ダムから流れ出る水が急に増えることによって、下流の川の水かさが急に増えるおそれがある所まではダムの警報が必要ということから決められています。

三隅川の出合橋から下流については、ダムの警報の放送やサイレンは鳴りませんので、大雨のときは、川から上がったり川に近づかないように注意してください。

## ダムのサイレンが鳴らなければ、川は安全？

ダムから流れ出る水が急に増えて、川の水かさが急に増えるときは、放送やサイレンが鳴ると説明しましたが、実は下の図のように、**ダムの下流で強い雨が降ると、ダムから流れ出る水が少なくても川の水かさが急に増えることがあります。**



とういわけで、必ずしも「**ダムの放送やサイレンが鳴らなければ、川は安全**」というわけでは**ありません**。

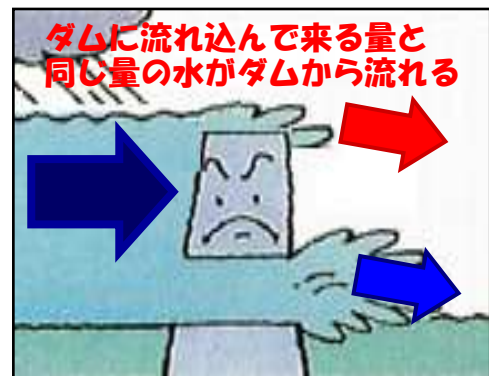
最近、局地的な大雨が突然降り出すことが多々あります。**ダムの放送やサイレンが鳴らなくても、大雨のときは、川から上がったり、川に近づかないように注意してください。**

## もう一つのダムの放流警報

大雨が長く続き、ものすごい量の水がダムに流れ込むと、ダムに水を貯めることができなくなります。

そうすると、**ダムに流れ込んできた水が、ダムを越えてそのまま下流へ流れます。**このような事態になる**おそれがある場合も放送やサイレンを鳴らします。**

ただし、御部ダムは100年に1回起こるような大洪水でも洪水調節が出来るように作られています。



### 放送文

こちらは島根県御部ダムです。  
大雨のため今後、ダムを越えて水が流れ出すおそれがありますので、防災情報等に注意して下さい。また、危険ですから川に近づかないでください。  
なお、この放送が終わりますと、サイレンを鳴らしますので、ご注意下さい。

サイレン 川の水が急に増える場合の警報と同じです。